

「榊原弱者救済所」を一般公開 その偉業を後世に伝えたい

明治30年(1897)から昭和初期まで30年にわたり1万5千人もの社会的弱者を保護、救済してきた榊原救済所でしたが、亀三郎の他界、それにも増して日中戦争さなか、戦争賛美に湧く日本の世相は弱者救済や更生保護などは受け入れてくれません。軍靴の足音は救済所を閉鎖に追い込んでしまったのです。

それから80年。すっかり埋もれてしまっていた、この世に誇るべき救済所の実績を後世に残すべきと、救済所跡の保存活動が始まります。

半田市・半田保護区保護司会・はんだ郷土史研究会・鴉根区の四位一体の取り組みでした。



2013年3月2日 中日新聞朝刊

史跡公園を新設

竹林を開墾、「記念碑」などを移設、救済所の歴史が分かる公園を造る。



2013年8月20日 中日新聞朝刊

平成25年(2013)9月、史跡公園完成 亀三郎精神の継承活動、開始!



移設された記念碑を見る亀三郎のご子孫ら



見学の人が続々。子どもたちもダッシュ!

あなたも鴉根史跡公園に
一度訪れてみませんか。

